

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2015年 2月 7日(土) 10時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	市民自然図鑑案内人(寺岡先生)/(午前のみ)、 エコウイング会員/5名(午前のみ、午後のみ各1名)、 団体会員(明石高専)/7名(午後6名)、事務局/1名(午前のみ) 計 14名(午後10名)

● 午前

今日は、朝10時に公園事務所の会議室に集合し、エコウイングあかしからの連絡事項の説明の後、午前中は公園内を散策しながら「あかし市民自然図鑑／昆虫編」の予備調査の観察会をしました。ただし、まだまだ寒い時期なので観察できた昆虫は限られていましたが、カメムシやガ、ゴミムシ、スズメバチのなかまなどを確認しました。来月の活動日は、だいぶ春の気配が深まってきていて、色々な昆虫が姿を見せてくれるものと、楽しみにしています。

朝のミーティング風景



昆虫の観察をするメンバー



● 午後

午後は、初参加の明石高専の学生さん4名に対して、里山整備活動をするうえでの安全上の注意点について「安全マニュアル」をもとに説明しました。その後、10名のメンバーで公園内の散策路を巡り、里山整備の状況を再確認しました。散策の途中では、今回も初参加の学生さんに樹木の伐採手順について、実際に木を切る作業をしながら覚えていただきました。

最後に、公園奥の水源の池に生えてきた竹の伐採をして、定刻の午後3時ごろ活動を終わりました。

ふもとの竹林の整備状況を確認する学生さんたち



伐採中の木の状況を確認する学生さんたち



初参加の学生さんの伐倒作業体験



公園奥の水源池で竹の伐採作業をするメンバー



- 次回の活動は、3月14日(土)の朝9時から、午前中は市民自然図鑑の昆虫観察予備調査、午後は里山整備活動を予定しています。いつもの第1土曜日ではなく、第2土曜日です。春の昆虫が色々と観察できると思われます。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の観察で確認した昆虫を紹介します。まず、アベマキの木の幹の皮に隠れるように潜んでいたカメムシのなかまを見つけました。また、木の表皮の模様になじむような翅の模様のカメムシのなかまも見つけました。公園内の朽ちた倒木の表皮をめくると、中でコガタスズメバチの女王が越冬中でした。写真撮影後に、はがした木の表皮をまたかぶせておきました。

アオモンツノカメムシ



木の幹の模様に溶け込んだチャエダシヤク



朽木の中で越冬中のコガタスズメバチの女王



オオクチキムシ



朽木の下に潜んでいたゴミムシダマシのなかまの幼虫



ミノガのなかまの幼虫「ミノムシ」



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

今日も、ジョウビタキやルリビタキ、シロハラなどの冬鳥をはじめ、金ヶ崎公園の常連のコゲラやメジロ、ヒヨドリ、エナガ、コサギ、など色々な野鳥が姿を見せてくれました。少し珍しいダイサギも観察できました。

ジョウビタキ(オス)



ジョウビタキ(メス)



ルリビタキ(メス)



シロハラ



コゲラ



メジロ



ヒヨドリ



エナガ



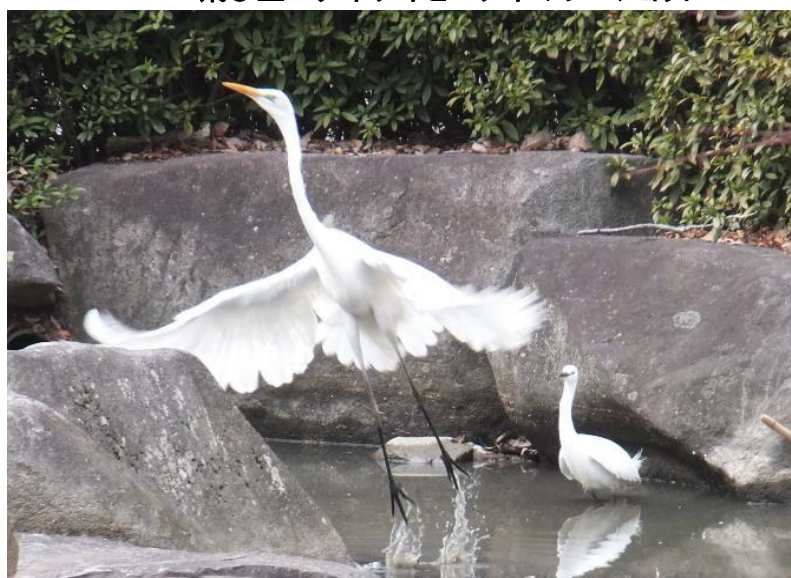
コサギ



ダイサギ



飛び立つダイサギとコサギのツーショット



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

植物では、少しずつ春の気配を感じることができました。ヒメオドリコソウやハコベ、ウメの花が咲き始めていました。そのほかに、クチナシの実が色づき、狂い咲きのモチツツジも観察しました。厳冬期でキノコはほとんど見かけませんでしたが、その中でホコリタケが見つかりました。

ヒメオドリコソウの花



ハコベの花



ほころび始めたウメの花



クチナシの実



狂い咲きのモチツツジ



ホコリタケ

